

## 1 2学期がスタートして

9月下旬に、3年生が受験する大学入学共通テストの志願票を発送しました。刈高祭が終わったタイミングで大学入学共通テストの志願票を発送することが、本格的な受験勉強開始のスイッチになったように感じています。とにかく、健康な状態で受験し、希望する進路が実現することを祈るばかりです。そして、その成功例を2年生に伝え、刈高のよき伝統が続いていくことを切望しています。

校内では、朝早くから夕方遅くまで学習室で必死に学習する姿を目にします。昼休みも学習をしている生徒が増えています。そのような姿は頼もしく感じますし、その背中を見ている後輩たちにも好影響を与えるはずです。

2年生においては、夏休み課題において、自分の進路選択のために大学教授が行う「夢ナビ講義動画」みてレポートをまとめるという課題を行い、将来の学びについての「予習」ができたようです。また、9月下旬に進路LTを行い、進路意識を高めました。10月中旬に希望者が校外会場で受験する駿台ハイレベル模試にも約90名の生徒が申し込んでおり、進学に関して意識の高い生徒が多いと感心しています。

## 2 実力テストについて

本校では進路指導部主導で課題・実力テストを4、9、10、1月に行っています。1、2年生の実力テストは10月のみ（他3回は課題テスト）ですが、教員側も生徒の実力が測れるように作問に力を入れて行っています。また、成績個票の返却以外に各教科担当者が記す「講評」を生徒に配付し、厳しくも温かいメッセージを生徒に伝えています。

とりわけ、3年生の9、10月実力テストは、12月に行う進路検討会の貴重なデータとなっています。また、入試で成功を収めた卒業生に関しては、1～3年の10月実力テストの結果との相関を『進路の手びき（17～24ページにあります）』に掲載させてもらっており、後輩たちの貴重な判断材料となっています。したがって、2学期中間考査を終えた2週間後に実施されるという忙しい日程ですが、実力テストをしっかり受験してほしいと思います。「予習」ということで、以下に3年生9月実力テストの講評からの抜粋を載せておきますので、今後の学習の参考にしてください。

## 3 令和5年度大学入試(現3年生が受験)環境

予備校等が主催する大学入試研究会にいくつか参加しました。そこで伝えられていた「令和4年度入試からみえたこと」、「令和5年度入試へ向けてのポイント」を右上の枠内にまとめました。

現在の保護者の方々の世代が大学入試を経験した1990年代前半が最も厳しい入試環境だったそうです。したがって、お子様が高い進路希望を持っていて心配だ、感じることもあると思いますが、現在の大

学入試環境が最も競争が緩和された時代と言えます。ここ数年の間に「大学全入時代」が到来するといわれています。「第一希望を最後まで貫かせる」ということを進路指導部方針として掲げていますが、第一希望を大事にし、進路希望の実現のために必要な情報等を知らせ、サポートしていきます。

### ○令和4年度入試からみえたこと

- ・受験生が大幅難化した大学入学共通テストでは大きな差がつかず、個別試験勝負だと気づき、強気な出願が目立った。
- ・初志貫徹率（第一希望そのまま受験）が高かった。
- ・国立大学において、5年前に比べて入学定員は変わらないのに、志願者が1割減少した。既卒生も減少して競争が緩和された。

### ○令和5年度入試のポイント

- ・強い既卒生が少なく、現役生に追い風の入試。全国的に志望が控えめ。
- ・大学入学共通テストで高得点が取れた人は、二次力(記述力)があった人といえる。本物の学力を培うことが大事。
- ・「行けそうな大学」ではなく、「行きたい大学」を目指す。大学全入時代の到来。

## 4 2年生後半の進路意識

10月実力テストの翌週に進研模試を実施します。この模試からは理科・地理歴史も加わります。難関大合格の秘訣としては、この時期からの模試成績の安定と上昇がポイントになります。また、本校の卒業生の入試結果から、難関大学の合格の秘訣として「2年生のうちに国数英の基礎が固まっていること」が重要だということがよく言われます。9月に行われた生活実態調査をみると、約8割の生徒が数学を中心に国数英3教科を重点的に学習していることがわかります。このまま着実に学習を積み重ねてほしいと思います。また、2年生の11月の模試以降に難関大学合格者と不合格者の差が開いていくというデータもあります。11月、1月、2月の模試をしっかりと受験し、復習をすることを伝えていきたいと思います。模試で自信をつけて「行けそうな大学ではなく行きたい大学」を目指してほしいと思います。お子様方の希望進路の実現ができるように、進路指導部としては普段からの資料の提示や適切な声掛けをし、全力でサポートをしていきます。

## 5 新課程入試(令和7年度入試)の経過措置

今年入学の1年生は、新しい教育課程で学習しています。そのため、現1年生が受験する令和7年度入試は新課程入試となります。仮に現2年生が浪人した場合についての経過措置が文部科学省から公表されています。以下に掲載しておくのでご確認ください。簡潔に申し上げれば、浪人しても現在受けている教科・科目で対応できるということが示されています。

(文責 進路指導主事 岩崎 達哉)

## 参考資料

河合塾、駿台予備学校、ベネッセコーポレーション、文部科学省各種資料